

作用機序に関する説明資料

1. 製品概要

商品名	ルテイン ^{エー} a
機能性関与成分名	ルテイン
表示しようとする機能性	本品にはルテインが含まれます。 ルテインには、目の黄斑部の色素量を増やすこと、コントラスト感度を正常に保ち視覚機能を維持することが報告されています。

2. 作用機序

ルテインは、眼底の網膜の中心部（黄斑部）に多く偏在する成分であり、紫外線やブルーライトのような高エネルギーの光を吸収し、またそのような高エネルギーの光によって発生する活性酸素を消去することができる。この作用によりルテインは網膜の変性を防ぎ、目の健康を維持すると考えられる。

ルテインは消化管内で胆汁酸やリン脂質などの働きによって分散され、最終的には胆汁酸を主成分とするミセルに可溶化される。その後、単純拡散やレセプターを介した促進拡散によって吸収され、網膜を初めとする各組織に運ばれる。ルテインは前述の作用により網膜を保護するため、網膜の変性が抑えられることで視覚機能の維持が行われていると考えられる。

<参考文献>

1) Binxing Li, Faisal Ahmed, and Paul S. Bernstein Arch Biochem Biophys.

2010 December 1; 504(1): 56-60

2) 日経ヘルス編 サプリメント事典 第4版

3) フジメディカル出版 Functional Foodー機能性食品の基礎から臨床へー Vol.6

No.1 2012